

1階展示室

実際に触れて体感する四季折々の下町の生活

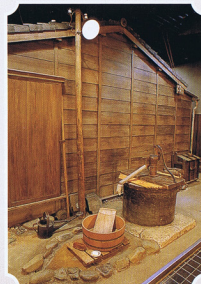


週末には昔懐かしい紙芝居や、伝統の技術を今に伝える職人による製作実演を行ないます。
また、毎年春と秋には、下町のさまざまな伝統工芸の展示・実演を行なう「伝統工芸実演会」を開催します。

ときは大正時代——古き良き江戸の風情をとどめる東京・下町の街並みを再現しています。

通りに面した大店は、花緒の製造卸問屋です。「出桁造り」といわれる当時の商家の典型的な建物には作業場と帳場があります。狭い路地に囲まれた裏店の長屋では、薄壁一枚に仕切られた隣同士、井戸も共同で使いました。ここの住人は「駄菓子屋」を営む母娘と「銅壺屋」の職人一家。長屋の中は小さな一間ですが、さまざまな調度品や生活道具があります。これらはすべて実際に使われていたもの、長い間、大切にされて今ここにあるものです。

商家・長屋には、どうぞ上がってご覧ください。ちゃぶ台や長火鉢の前に座り、ゆったりと時を刻む柱時計の音に耳をかたむければ、四季折々の下町の風情と暮らしを体感できるはずです。



2階展示室

さまざまな資料が、下町の歴史と文化を物語る



区内の銭湯で実際に使われていた番台。本物の磨り心地が味わえます。

各コーナーに分けて台東区を中心とした下町地域にゆかりの資料、生活道具や玩具、さらに季節やそれに応じた年中行事に関連する資料など、さまざまな資料を展示しています。

人びとの生活は、時代とともに大きく変化してきました。街並みにしても生活道具にしても、その変化とともに忘れ去られたもの、消え去ったもの、姿形を変えたものなどさまざまです。ここに展示した資料は、それほど遠くない昔の下町とそこに暮らす人びとのようすを、そのまま今に伝えるものです。

玩具コーナーでは、どうぞ手にとって「遊び」の楽しさを実感してください。



- ◆ 下町地域に関する資料
- ◆ 生活に関する資料
- ◆ 季節・年中行事に関する資料 など



下町地域や庶民生活にゆかりの深いことからテーマとした展覧会を年2回開催します。